

# 「山のエコ学校」開校！～都市域との連携による山村の活性化～

## 施策のポイント

「環境」「ひと」「お金」を循環させ、山村と都市が互いに問題解決を行う場として、森林の維持、体験学習、商品開発をトータルで行う「山の学校」を企画、試行実施し、吉野林業の再生による持続可能な山村づくりの実現を図る。

### 自治体情報

奈良県東吉野村

人口 / 2,457人

標準財政規模 / 1,533,579千円

担当課 総務企画課

電話番号 代表 0746-42-0441 内線 201

実施主体 東吉野村山の学校協議会

関連ホームページ <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/siryou/pdf/090630kinki.pdf>

事業期間 平成 21 年度

参考とした施策

関係施策分類 ① ② ④ ⑤

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

東吉野村は、吉野林業の主産地として栄えてきたが、過疎高齢化によって人口が減少、林業不振等も相俟って森林の荒廃、経済の低迷といった諸課題を抱えており、森林機能の回復と吉野林業の再生による山村の活性化を図る。



### 2 取り組みの具体的内容

東吉野村の施設の指定管理者で交通事業者である奈良交通(株)等の民間が中心となり、環境モデル都市である堺市と友好都市にある東吉野村が連携・協働して「環境」「ひと」「お金」が循環し、山村と都市のお互いが win-win の形で「山のエコ学校」を開校し、その企画、検討、試行実施を踏まえながら実現を図っていく。

#### (1) 「山を育て・守ろう科」の検討

企業を対象に低炭素と CSR を目的とした森林アドプト制度について企画、検討、試行実施を行う。

#### (2) 「山に学び・遊ぼう科」の検討

都市住民を対象に人材と資源を活用した遊びと学びの体験プログラムの企画、検討、試行実施を行う。

#### (3) 「山で儲ける科」の検討

吉野林業はじめ村の資源を生かしたエコ商品等の企画、検討、試行実施を行う。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- (1) 森林保全、企業の低炭素、イメージ向上
- (2) 人材育成、環境学習、交流人口増
- (3) 雇用創出、経済活性化等

## 4 現在までの実績・成果

- (1) 平成 22 年度から村が制度を創設、堺市内の企業が 3 年間の活動を目指す。
- (2) 森林作業や郷土料理、水棲昆虫の観察等の体験モニターツアーを実施
- (3) よもぎボディソープ、木育玩具の試作、実験販売、ロゴマークの製作

## 5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

都市住民が安心、安全に活動できるフィールドの確保に苦慮、地元住民の理解と協力を得ることができた。

## 6 今後の展開と課題

平成 21 年度は民間や行政が先導してきており、今後は地元住民が積極的に参画する体制の整備と人づくりに取り組み底上げする必要がある。

モニターツアー等により都市住民の一定のニーズ等を把握、十分満足のいく内容とするためには費用も必要でその乖離部分をどう埋めていくかが課題である。



### 予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳 (財源区分：①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
16,800 千円		16,800 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
①～④の名称、 所管など	名称	地方の元気再生事業				/
	所管	内閣府 内閣官房				
	金額	16,800 千円				
	補助率	100%				